

広報

2024 No.48

なが
NAGA FIRE DEPARTMENT



P2.3

特集

災害に備えて被害を最小限に!! 減災のススメ

P4

正しく利用みんなの救急車

P5

那賀防火管理協議会・和歌山メディカルラリーで優勝!!

P6.7

消防ホットニュース・消防白書・ニューフェイス誕生

P8

令和6年度防災ひとつくり事業各部門優秀賞受賞者・作品紹介
那賀消防組合からのお知らせ・消防出初式案内・消防プレゼントクイズ

減災のススメ

災害に備えて被害を最小限に!!

8月8日午後4時43分頃、宮崎県日向灘の深さ31kmを震源とするマグニチュード7.1（最大震度6弱）の地震が発生し、「南海トラフ巨大地震注意」が発表され、緊張が走りました。災害は、いつどこで起こるかわかりません。災害時のリスクを減らすために、平常時から考えておきましょう。

★非常持出品（防災リュック）・備蓄品

★家具の固定

震度5強でタンスなどが倒れ、テレビが台から落ちると想定されています。家具の転倒や散乱によって逃げ遅れたり室内でケガをしないためにも、家具の固定は重要です。



★住まいの耐震化

昭和56年（1981年）以前に建てられた建物は古い耐震基準で建てられています。耐震診断を受け、結果に応じた補強をしてください。

★避難先・避難経路

「もしもの時は、どこへ避難する」を確認しておきましょう。ハザードマップも活用して、自宅から避難先まで実際に歩き、危険な場所をチェックしておきます。

★緊急連絡先

公衆電話や災害伝言ダイヤル「171」の使い方を確認しておきましょう。



自分で守る
自助



紀の川市
ハザードマップ
(紀の川市
ホームページ)



岩出市
ハザードマップ
(岩出市
ホームページ)

地域で守る
共助

日頃からご近所さんとコミュニケーションをとり、いざというときは「互近助さん」で互いに助け合いを。

★地域の防災訓練に参加する

★地域の安全点検をする

★事業者と地域の連携



公的機関
が守る
公助

国や市町村、消防、警察、自衛隊など公的機関の支援



★防災対策の推進、

ハザードマップの作成

★救助活動や支援物資の提供

★ライフラインの復旧など

防災と減災って

何が違うの？

防災とは

自然災害などからの被害を未然に防ぎ、「被害をゼロに近づける」ことを前提とし取り組みます。

減災とは

自然災害などでは「被害は起きる」を前提としています。大地震などが起きると、被害は生じるものものそれを最小限に食い止めるための取り組みをいいます。避難訓練への参加や、家具の固定などが減災にあたります。



非常持出品を準備していますか？

非常持出品はリュック等にまとめて、持ち出しやすい場所に置いておきましょう。
重さの目安は、女性10kg、男性15kgが目安です。
リストは一例です。ご家族に合ったものを準備して下さい。

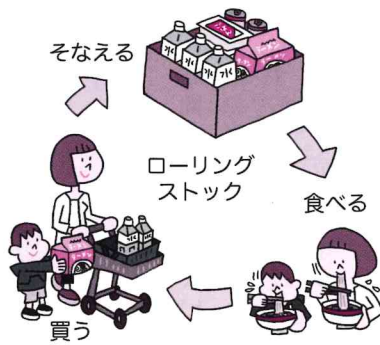


<非常持出品リスト>

- ・飲料水
- ・衣類（下着や雨具）
- ・携帯ラジオ
- ・携帯トイレ
- ・医薬品（常備薬、マスク等）
- ・貴重品（保険証のコピー、小銭等） など
- ・非常食
- ・ヘッドライト
- ・携帯電話の充電器
- ・モバイルバッテリー
- ・タオルや軍手

備蓄品はローリングストック(日常備蓄)で備えましょう

ローリングストックとは、普段使いのレトルト食品や缶詰、乾物水などの食べ物や日用品を少し多めに購入し普段の生活で古いものから順に消費して、食べた分を買った分を補充しながら備蓄していく方法です。この備蓄方法だと、消費期限切れも防ぐことができ、食品を無駄にしてしまうことも防げます。自分や家族が食べ慣れているものや好きなものを備えましょう。



令和6年能登半島地震では、地震により道路が寸断し、救助や支援助物資が届くまでに、1週間以上かかった地域もありました。出来れば1〜2週間過ごせる量が目安です。
水や食品だけではなく、カセットコンロやボンベ、携帯トイレ、トイレレットペーパーなど、日用品の備えも必要です。

元気の源は「しっかり食べて、きちんと出す」

トイレの備えも必要です。自宅避難できる場合で、断水や配管の破損が考えられるときは、便器にごみ袋を2枚広げ便座を下ろし、凝固剤又は新聞紙やペットシート猫砂などを入れ、用を足したら1枚目のごみ袋のみ捨てて、またごみ袋や凝固剤等をセットします。



いざというとき

自助・共助が大切です

災害時の基本的な考え方は、自助・共助・公助ですが、自分の命、家族の命は自分たちで守る「自助」、地域みんなで助け合う「共助」こそが、災害による被害を軽減するため大きな力となります。しかし、身の回りの人を助けるには自分自身が無事であること。「自助」があつての「共助」です。平時から「自分や家族でできること」「ご近所で力を合わせてできること」などを考え、災害に備えておくことが大切です。

岩出市防災ジュニアリーダー育成講座

岩出市主催の防災ジュニアリーダー育成講座が、8月6日・7日に開催されました。次世代の地域のリーダーを育てるべく、岩出市内の中学生22名が防災に関する知識やホースを延長しての放水訓練救命講習、ロープの結び方などを学び災害対応能力を身につけました。表紙の写真は、避難所運営ゲームを行っている写真です。次々に避難してくる住民をどこで過ごしてもらうか、支援助物資をどこに置くかなど、さまざまな想定をグループで話し合い、意見を出しながら一生懸命に考えていました。





正しく利用 みんなの救急車



「救急搬送の現状」

当消防本部の救急出動件数は令和5年で5,973件となり、消防組合発足以来最多の出動件数となりました。これは1日に平均16件以上出動していることとなります。これらの中には、「救急車で行けば早く診てもらえる」「タクシーだとお金がかかる」「どこの病院に行ったらいいかわからない」などといった、緊急性や重症感のない救急要請が含まれています。

「救急車は限りある資源」

通常、119番の救急要請を受けると、現場を管轄する救急車が出動しますが、管轄の救急車が出動している場合は、別管轄の救急車が出動することになり、現場到着に時間を要してしまいます。このため本来救急車の必要がない傷病者に救急車が出動することにより、本来に救急車を必要とする傷病者に対する救命処置が遅れてしまいます。当消防本部では、こういった「救える命」を守るために、救急車の適正利用を推進しています。

なお、傷病者の状態に緊急性や重症感があり、急いで病院へ搬送した方がよいと思われるときは、直ちに119番通報をしてください。

「全国版救急受診アプリ「Q助」のご紹介」

救急車を呼ぶかどうか、症状を選択して判定できるアプリを消防庁が作成しましたので、緊急度を判定する際に参考としてください。

全国の医療情報ネットや、タクシー事業者を検索できる機能も付いています。



消防庁「Q助」案内サイト

「救急車利用マニュアルのご紹介」

救急車の利用方法について、総務省消防庁からマニュアルが発刊されていますので参考にしてください。

「患者等搬送事業認定事業者一覧表」

那賀消防組合認定（令和6年8月現在）

番号	認定事業者	所在地	電話番号
1	和歌山福祉救急移送株式会社粉河営業所	紀の川市粉河 454-1	073-464-3930
2	合同会社ライフサポート裕喜(車椅子専用)	岩出市新田広芝 28-11	080-4930-8074

和歌山市消防局認定（令和6年8月現在）

番号	認定事業者	所在地	電話番号
1	和歌山福祉救急移送株式会社	和歌山市園部 1542-2	073-464-3930
2	ライフアクセス株式会社	和歌山市延時 87-2	073-456-6227
3	和歌山ストレッチャーサービス	和歌山市六十谷 314-3	073-481-2531
4	相互タクシー株式会社	和歌山市松島 222番地	073-473-5588

橋本市消防本部認定（令和6年8月現在）

番号	認定事業者	所在地	電話番号
1	バイカル民間救急	橋本市神野々 1109-2	0736-25-6355



救急車利用マニュアル（総務省消防庁）

(注) 料金・サービス内容等については、事業者により異なりますので、直接お問い合わせください。

私たちの職場は私たちが守る!!

那賀防火管理協議会

那賀防火管理協議会は発足30周年になりました!



那賀防火管理協議会は設立され、今年で30年となります。それに伴い5月24日ホテルいとうにて、那賀防火管理協議会設立30周年記念式典が開催されました。

式典後には、出張減災教室「地震津波についての基礎講座」を講演いただきました。

第20回消防操法大会が開催されました。

10月22日には、第20回消防操法大会が開催されました。本大会は第20回の記念大会となり、多くの方々に参加いただきました。皆様の大会の動きを見てみると非常にたくましく感じました。

参加いただいた選手の皆様、公式練習から長期間にわたり、お疲れ様でした。



和歌山メデイカル ラリーで優勝!!

(9月15日、御坊市)

皆さんは「メデイカルラリー」という競技をご存知ですか?

メデイカルラリーとは、医師・看護師・救急隊員から構成された6名のチームが、想定された救急現場に向かい、的確な現場対応が出来ているのかを審査員が評価する競技です。

今回で16回目の開催となる和歌山メデイカルラリー、今年は御坊市で開催され、公立那賀病院の医師1名、看護師2名、当消防組合の救急隊員3名で参加しました。

仕事が終わってから練習を行い、ラリーで必要な知識と技術を学び練習を重ね、チームとしてのスキルを磨き上げ当日に挑みました。当日は、11チームが参加し、たくさんのお客様のなかでの競技、緊張もありましたがチームで力を合わせ全力を尽くしました。

結果は、見事優勝!!快挙を成し遂げました!!

チームを結成してから約2カ月にわたり試行錯誤しながら訓練を重ね、すばらしい結果を得られたことは、選手にとって大きな自信となったことと思います。

チームは解散となりましたが、この経験を糧に活躍されたいと思います。



消防ニュース

★紀の川市消防団・東消防署合同訓練

8月25日紀の川市西野山、西野山集会所にて「紀の川市消防団・東消防署合同訓練」を実施しました。

地域防災力の要である消防団が初期活動の重要な担い手となることから、災害時において適切な判断と迅速な活動が行えるよう、災害対応能力の強化を目的に実施しました。

この訓練は、建物火災によって延焼拡大危険がある想定で、消防署と消防団の連携による消火活動のほか、確実な現場状況評価、指揮命令の確立基本となるホース延長要領などを行い消防署と消防団の知識と技術の共有を図ることができ、大変有意義な訓練となりました。



★大切な命を守るために



8月19日・20日の2日間
当消防本部で
普通救命講習
会が開催され
那賀防火管理
協議会会員の
事業所から95
名が受講し、
心肺蘇生法、
AEDの取り扱い方法、
気道異物の除去、
圧迫止血法などの知識や技術を習得しました。

★高齢者防火推進週間

那賀消防組合では9月15日から21日までの1週間を「高齢者防火推進週間」とし、広報活動や防火講話、高齢者が入所する福祉施設に対する査察を行うなどの防火啓発活動を実施しています。

この活動は高齢者の皆様に火災の危険性を理解していただき、各事業所には自主防災体制を強化していただくことを目的としています。



管内消防白書

●火災のようす

令和5年中の紀の川市、岩出市で発生した火災は47件で火災損害額は7千504万9千円でした。

これを前年と比較すると、火災は3件増加、損害額は5千564万7千円増額しました。火災種別では、建物火災16件、車両火災3件、その他

火災28件となつています。

統計上の火災件数は47件ですが、ひとつ間違えれば火災となる軽微な災害への出動が139件ありました。

次に、火災原因別に見てみますと、たき火が13件、火のついたごみが4件となつています。人的被害は死者4名、負傷者6名でした。



●令和5年中 火災出動件数

		紀の川市	岩出市	合計
建物	件数	8件	8件	16件
	焼損面積	521㎡	141㎡	662㎡
車両	件数	3件	0件	3件
	焼損車両	3台	0台	3台
その他	件数	20件	8件	28件
	焼損面積	8,808㎡	738㎡	9,546㎡
計	件数	31件	16件	47件
	損害金額	64,705千円	10,344千円	75,049千円



これからの季節、火を取り扱う機会が多くなると思いますが、火の元には十分な注意をお願いします。

★子ども防災博士意見発表会

8月21日に、紀の川市生涯学習センターにおいて、管内の小学校21校から推薦された6年生の代表児童21名が参加し「子ども防災博士意見発表会」を開催しました。

子どもたちは、年始に起きた能登半島地震をみて考えたこと、阪神淡路大震災や東日本大震災について学習したことからローリングストックで水や非常食を備えること、日ごろから家族で避難場所を話し合っておくことの大切さなど、自分の思いや考えを発表しました。



子ども防災博士意見発表会

★訓練成果を披露！初任教育第48期

4月9日から9月13日まで、和歌山県消防学校で実施される初任教育へ当消防本部から5名の新規採用職員が入校しました。消防職員として必要な知識や技術、体力、精神力を修得するため、約6カ月間全寮制で訓練を受けました。



今年和歌山県下58名（男性56名・女性2名）の新人消防士が入校しました。

●救急・救助のようす

令和5年中の救急出動件数は、5,973件で、1日平均約16件出動しました。市別にするると、紀の川市3,355件、岩出市2,617件、管外1件となっています。搬送した人員は、5,671人でした（左表参照）

次に、救助出動件数は133件で前年と比較して40件増加し、救出者数は83人でした。

品病院案内

日曜、休日等に診療が可能な医療機関等を次に記載してありますので切り取ってご利用ください。

▼和歌山県救急医療情報センター
Tel 073・426・1199
24時間体制で最寄りの医療機関を案内します。

▼那賀休日急患診療所
Tel 0736・77・6410
日曜日、祝日及び年末年始診療可
午前9時～午後4時30分

▼和歌山市夜間休日
緊急診療センター
Tel 073・425・8181
土曜日 午後7時～翌午前6時
日曜日 午前10時～正午
日曜・祝日 午後1時～午後5時
午後7時～翌午前6時

▼子ども救急相談ダイヤル
#8000番
Tel 073・431・8000
平日 午後7時～翌朝9時
土・日・祝日 午前9時～翌朝9時
専門の看護師が相談に応じます。

▼和歌山市歯科休日
緊急診療センター
Tel 073・428・3588
休日 午前10時～正午
午後1時～午後3時

※問い合わせは
119番を使用せず、一般加入電話
Tel 0736・61・1791
(通信指令室)
にかけるとお願ひいたします。

那賀消防組合
ニューフェイス5人誕生

★北脇 健次	★佐口 誠哉	★森脇 成功	★高松 勝樹	★上田 一輝
人の命を守りたいという強い気持ちをもって頑張ります。	人の命を救い、消防士としての覚悟を持って頑張ります。	消防士として自覚と責任をもつて精一杯頑張ります。	消防士として人の命を守ることを第一に考え、行動していきます。	地域の方々に笑顔を届けられるよう努めます。

右から名前を紹介します。

		軽症	中等症	重症	死亡	合計(人)
救急搬送人員	急病	1,961	1,342	267	90	3,660
	交通	363	84	21	3	471
	一般	509	302	101	5	917
	その他	179	332	97	15	623
	合計	3,012	2,060	486	113	5,671

●救急搬送傷病程度
(中等症・3週間未満の入院が必要、重症・3週間以上の入院が必要)

		紀の川市	岩出市	管外	合計
救助出動件数	交通	22	11	0	33
	火災	15	9	0	24
	建物事故	9	11	0	20
	その他	37	18	1	56
	合計	83	49	1	133

●市別救助出動件数



令和6年度「防災ひとづくり事業」
「写生画・ポスター」
「標語・意見発表」
優秀賞受賞者

子ども防災博士
意見発表会の部

★最優秀賞 菱田 彩月
中央小学校

★優秀賞 森内 隆太
岩出小学校

★最優秀賞 澤本 藍
山崎北小学校

★優秀賞 淡路 果央
調月小学校

★優秀賞 大越 莉仁
西貴志小学校

★優秀賞 島崎 健
中貴志小学校

★最優秀賞 島 柚乃
智徳幼稚園

★優秀賞 岡野 日和
上岩出保育所

★最優秀賞 森本 羅斗
山崎保育所

★最優秀賞 根来 愉美
紀の川市

★最優秀賞 川口 俊子
紀の川市

★優秀賞 丹橋 未緒
岩出市

★優秀賞 落合みゆき
海南市

地域をつながり
で
守る命

戸棚からはじまる防災

防火・防災・
救急ポスターの部

救急標語の部

救命は
正しい知識と
行動力

消防車・救急車
写生画の部

最優秀賞 三宅 朝陽
こばと保育所

★最優秀賞 島 柚乃
智徳幼稚園

★優秀賞 岡野 日和
上岩出保育所

★最優秀賞 森本 羅斗
山崎保育所

★最優秀賞 根来 愉美
紀の川市

★最優秀賞 川口 俊子
紀の川市

★優秀賞 丹橋 未緒
岩出市

★優秀賞 落合みゆき
海南市

たくさんの
ご応募をいただき、
ありがとうございました！

那賀消防組合からの
お知らせ


☑ひとづくり事業
式典・展示会
12月7日・8日
(岩出市立市民総合体育館)

☑防火演技
12月11日
(岩出ショッピングセンター)

☑消防出初式
令和7年1月12日
(大宮緑地総合運動公園)

☑文化財防火デーに伴う
総合訓練
令和7年1月26日
(根来寺)

☑全国春の火災予防運動
令和7年3月1日から
7日まで



那賀消防組合消防出初式

★とき 令和7年1月12日(日)
午後1時30分から(予定)

★ところ 岩出市西野
大宮緑地総合運動公園

出初式では一斉放水や幼年消防クラブによる防火演技、中学校吹奏楽部による演奏を予定していますので、多くの皆様のご来場をお待ちしております。



消防プレゼントクイズ

本誌を読んで〇〇に当てはまる言葉と、住所、氏名、年齢、電話番号、ご意見、ご感想を官製はがきにご記入の上、左記へお送りください。正解者の中から抽選により20名様に景品を差しあげます。

問題
紀の川市・岩出市の
令和5年の火災原因1位は〇〇〇

●応募先
〒649-6215 岩出市中迫154番地
那賀消防組合(防災センター)

●応募締め切り
令和7年1月31日(当日消印有効)
発表は景品の発送をもって、かえさせていただきます。

※ご応募いただいた内容については那賀消防組合で適切に管理し、第三者に開示することは致しません。